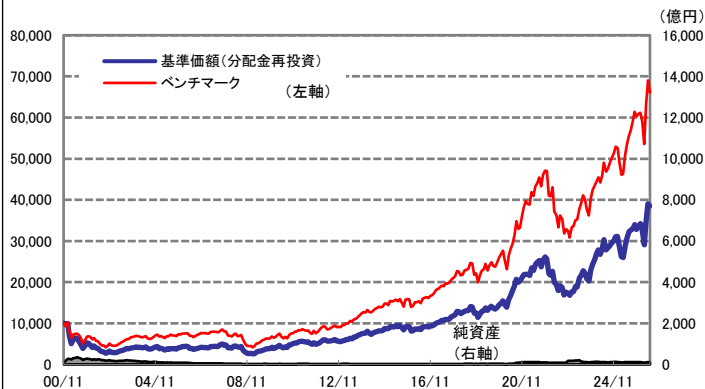


運用実績

2026年6月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日＝10,000として指数化：月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 25,831 円

※分配金控除後

純資産総額 111.6億円

騰落率

期間	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	-1.5%	-4.3%
3ヵ月	32.1%	23.4%
6ヵ月	14.6%	8.6%
1年	25.1%	23.6%
3年	77.2%	68.6%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 284.7% 560.4%

設定来累計 7,680 円

設定来＝2000年11月29日以降

ベンチマークであるNasdaq総合指数(税引前配当込み、円ヘッジベース)は、設定日前日を10,000として指数化しております。ただし、指数データの関係上2003年9月末までは「配当無し」となります。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2026年5月	850 円
2025年11月	700 円
2025年5月	600 円
2024年11月	700 円
2024年5月	650 円

資産内容

2026年6月30日 現在

資産別配分

資産	純資産比
株式	98.6%
株式先物	-
株式計	98.6%
その他の資産	1.4%
合計(※)	100.0%

※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示しておりません。

実質外貨比率 1.4%

・実質外貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

業種別配分

業種	純資産比
半導体・半導体製造装置	33.0%
ソフトウェア	13.2%
コンピュータ・周辺機器	10.1%
インタラクティブ・メディアおよびサービス	9.5%
大規模小売り	6.5%
その他の業種	26.4%
その他の資産	1.4%
合計	100.0%

組入上位10銘柄

2026年6月30日 現在

銘柄	業種	純資産比
NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	10.7%
ALPHABET INC-CL A	インタラクティブ・メディアおよびサービス	9.5%
AMAZON.COM INC	大規模小売り	6.5%
BROADCOM INC	半導体・半導体製造装置	6.1%
APPLE INC	コンピュータ・周辺機器	5.4%
APPLIED MATERIALS	半導体・半導体製造装置	5.3%
MICROSOFT CORP	ソフトウェア	4.8%
MICRON TECHNOLOGY	半導体・半導体製造装置	4.7%
MONGODB INC	情報技術サービス	3.4%
KLA CORP	半導体・半導体製造装置	2.9%
合計		59.2%

組入銘柄数：33銘柄

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)/ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

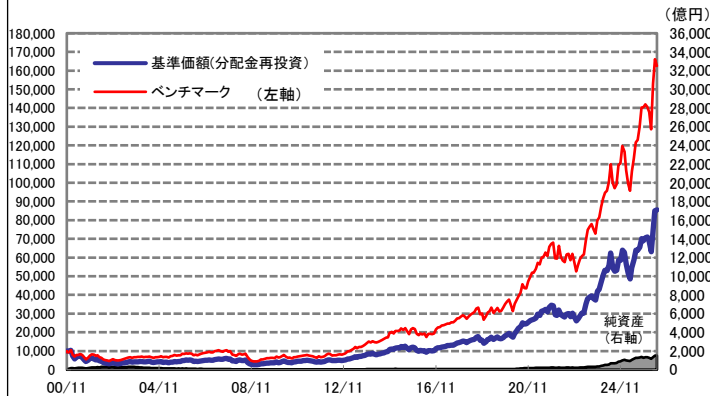


運用実績

2026年6月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日＝10,000として指数化：月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 48,232 円

※分配金控除後

純資産総額 1,518.3億円

騰落率

期間	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	0.5%	-2.2%
3ヵ月	35.5%	26.3%
6ヵ月	21.0%	14.4%
1年	45.2%	43.7%
3年	125.0%	117.2%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 754.7% 1,524.7%

設定来累計 15,520 円

設定来＝2000年11月29日以降

ベンチマークであるNasdaq総合指数(税引前配当込み、円換算ベース)は、設定日前日を10,000として指数化しております。ただし、指数データの関係上2003年9月末までは「配当無し」となります。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2000年11月29日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則5月、11月の各28日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2026年5月	1,950 円
2025年11月	1,600 円
2025年5月	1,300 円
2024年11月	1,600 円
2024年5月	1,500 円

資産内容

2026年6月30日 現在

資産別配分

資産	純資産比
株式	98.5%
株式先物	—
株式計	98.5%
その他の資産	1.5%
合計(※)	100.0%

※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示しておりません。

実質外貨比率 98.6%

・実質外貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

業種別配分

業種	純資産比
半導体・半導体製造装置	33.0%
ソフトウェア	13.2%
コンピュータ・周辺機器	10.1%
インタラクティブ・メディアおよびサービス	9.5%
大規模小売り	6.4%
その他の業種	26.4%
その他の資産	1.5%
合計	100.0%

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

組入上位10銘柄

2026年6月30日 現在

銘柄	業種	純資産比
NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	10.7%
ALPHABET INC-CL A	インタラクティブ・メディアおよびサービス	9.5%
AMAZON.COM INC	大規模小売り	6.4%
BROADCOM INC	半導体・半導体製造装置	6.1%
APPLE INC	コンピュータ・周辺機器	5.3%
APPLIED MATERIALS	半導体・半導体製造装置	5.3%
MICROSOFT CORP	ソフトウェア	4.8%
MICRON TECHNOLOGY	半導体・半導体製造装置	4.7%
MONGODB INC	情報技術サービス	3.4%
KLA CORP	半導体・半導体製造装置	2.9%
合計		59.2%

組入銘柄数 : 33 銘柄

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

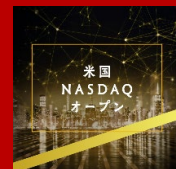
NOMURA 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

加入協会：一般社団法人資産運用業協会／

一般社団法人第二種金融商品取引業協会



ファンドの特色

- 信託財産の成長を図ることを目標に運用を行ないます。
- 米国のNasdaq上場株式を実質的な主要投資対象※とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、「米国NASDAQオープンマザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 株式への投資にあたっては、成長性、収益性、安定性等を総合的に勘案して選択した銘柄に投資することを基本とします。
- 株式の実質組入比率は高位を保つことを基本としますが、投資対象市場が休場等の場合は組入比率を一時的に引き下げる場合があります。
- 「Aコース」は原則として為替ヘッジを行ない、「Bコース」は原則として為替ヘッジを行ないません。
- ファンドは、以下をベンチマークとします。

Aコース	Nasdaq総合指数(税引前配当込み、円ヘッジベース)※1
Bコース	Nasdaq総合指数(税引前配当込み、円換算ベース)※2

※1「Nasdaq総合指数(税引前配当込み、円ヘッジベース)」は、Nasdaq Composite Index*をもとに、委託会社がヘッジコストを考慮して円換算した指数です。

※2「Nasdaq総合指数(税引前配当込み、円換算ベース)」は、Nasdaq Composite Index*をもとに、委託会社が円換算した指数です。

* Nasdaq Composite Indexは、米国のNasdaq市場で取引されている全ての株式を対象とした時価総額加重方式の株価指数です。

- ファンドは「米国NASDAQオープンマザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。

ファンドは、一般社団法人投資信託協会が定める「信用リスク集中回避のための投資制限」に定められている「特化型運用」を行なうファンドに該当します。
ファンドが実質的に投資対象とするNASDAQ市場には、寄与度(市場の時価総額に占める割合)が10%を超える、もしくは超える可能性が高い銘柄(支配的な銘柄)が存在すると考えられます。
実質的な投資が支配的な銘柄に集中することが想定されますので、当該支配的な銘柄の発行体に経営破綻や経営・財務状況の悪化等が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。
- 原則、毎年5月および11月の28日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。
分配金額は、基準価額の水準等を勘案して委託会社が決定します。
* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商 号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会



投資リスク

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 無期限(2000年11月29日設定)
- 決算日および収益分配 年2回の決算時(原則、5月および11月の28日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 一般コース:1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)
または1万円以上1円単位
自動けいぞく投資コース:1万円以上1円単位
※お取扱コース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、「ナスダック証券取引所」の休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、NISA(少額投資非課税制度)の適用対象ファンドにおいてNISAを利用した場合には課税されません。ファンドはNISAの「成長投資枠」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.694%(税抜年1.54%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

＜分配金に関する留意点＞

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があつた場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社
★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)
＜受付時間＞営業日の午前9時～午後5時
★インターネットホームページ★ <https://www.nomura-am.co.jp/>

＜委託会社＞ **野村アセットマネジメント株式会社**
[ファンドの運用の指図を行なう者]

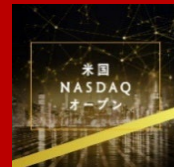
＜受託会社＞ **三井住友信託銀行株式会社**
[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、変動のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商 号: 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会: 一般社団法人資産運用業協会 /
一般社団法人第二種金融商品取引業協会



先月の投資環境

○先月のナスダック総合指数は、月間で4.08%の下落となりました。上旬は5月の堅調な雇用統計を受けて、利上げ観測が高まったことなどから、ハイテク株を中心に下落しました。中旬から下旬にかけては、米国とイランの軍事紛争終結に向けた暫定合意への期待が高まったことや大型IPO(新規株式公開)株が好調な滑り出しとなったことなどから上昇する場面もありましたが、6月のFOMC(米連邦公開市場委員会)で利上げの可能性が示唆されたことや、これまで大きく上昇してきた半導体関連株の株価が調整したことなどから下落し、月間でも下落しました。

○業種別では、保険、バイオテクノロジーが月間騰落率で相対的に上位となった一方、通信、コンピューターが下位となりました。

○為替:ドル・円レートは、堅調な米雇用統計や6月のFOMCを受けて米国の利上げ観測が高まり、日米金利差の拡大期待が高まったことなどから月末のドル・円レートは162円39銭と、月間で3円0銭の円安・ドル高となりました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○月間の基準価額(分配金再投資)の騰落率は、Aコースが-1.53%、Bコースが+0.54%となり、Aコースはベンチマークを2.74ポイント上回り、Bコースはベンチマークを2.75ポイント上回りました。ベンチマーク対比では、情報技術セクターやコミュニケーション・サービスセクターの銘柄選択効果がプラスに寄与しました。

○業種別配分では、情報技術セクターをオーバーウェイト(ベンチマークに比べ高めの投資比率)とし、同セクターの中で半導体・半導体製造装置セクター、ソフトウェア・サービスセクター、テクノロジー・ハードウェアおよび機器セクターをオーバーウェイトとしています。情報技術以外のセクターでは、金融セクターをオーバーウェイトとしたほか、生活必需品セクターをアンダーウェイト(ベンチマークに比べ低めの投資比率)としています。

○月間の主な売買としては、従来からのスマートフォンや自動車向け半導体に加え、新たに注力しているデータセンター向け半導体の中長期的な成長が期待できると判断した米国の半導体・半導体製造装置株を買い付けした一方、ポートフォリオのリスク管理の観点から米国のコンピュータ・周辺機器株を売却しました。

今後の運用方針(2026年6月30日現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○米国経済は、底堅い動きが続いています。5月のCPI(消費者物価指数)は前年同月比+4.2%となり、4月(同+3.8%)より伸び率が高まりました。一方で、5月の家計実質可処分所得は前月比+0.3%と増加に転じ、同月の実質個人消費も+0.3%と底堅く推移しています。5月の非農業部門雇用者数も前月差+17.2万人となり、雇用も堅調です。6月のFOMCでは、政策金利の据え置きが決定されました。米国とイランの終戦合意を受けた原油価格下落などを受けて物価や景気への悪影響は今後和らいでいくとみていますが、FOMCは物価上昇への警戒感を強めつつあり、引き続き景気や金融政策の動向には注視が必要と考えています。

○このような環境のもと、当ファンドの運用としては、外部環境の変化に対する影響を受けにくく、着実に収益をあげる力を持つ企業を中心に銘柄選択を行なっていく考えです。引き続き各銘柄の成長性を精査し、成長性に対してバリュエーション(投資価値評価)が割安と判断される銘柄の組み入れを行なってまいります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)/ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

加入協会:一般社団法人資産運用業協会／

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

米国NASDAQオープン <Aコース／Bコース>

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第7号	○		○	
株式会社十八親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第3号	○			
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第6号	○		○	
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第6号	○			
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3283号	○	○		○
安藤証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第1号	○			
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
いちよし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第24号	○	○		
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○	○
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○			
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第65号	○			○
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○	
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第105号	○			○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○	○	○
moomoo証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3335号	○	○		
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
FFG証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第5号	○			○
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○	○		
三木証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第172号	○			
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○		

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

米国NASDAQオープン <Aコース／Bコース>

以下は、取次販売会社または金融商品仲介による販売会社です。
お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。